

令和4年 6 月 24 日

地区コミッショナー 各位

団委員長経由

カブスカウト隊 各位

ボーイスカウト隊 各位

日本ボーイスカウト千葉県連盟

県コミッショナー 片寄 朗

カブのキャンプについて

カブスカウトの野外活動については、カブスカウト隊リーダーハンドブックの「11.野外活動」の項に記載されていることはすでに周知のことと思います。

ビーバースカウトの戸外活動から、野外活動への比重が高まるカブスカウトでは、様々な段階的な野外活動を通じて、また短期ではありますが「キャンプ」を通じて大自然から多くのことを学びます。

しかしながら、「カブのキャンプ」は、あくまでもカブホリデイ(舎営)が基本であり、カブのハイキングやデイキャンプを積み重ねてカブホリデイを発展させ、テント生活で行うものが「カブのキャンプ」であるということはいうまでもありません。

日本連盟発行の「カブのキャンプ」(平成3年初版)にその考え方とそこに至る経緯が詳述されています。今一度関係の皆様には熟読いただき、行き過ぎた解釈で、部門を越えた活動へと発展させることの無いように留意下さい。また、この本を読みますと、ビーバースカウトの戸外活動についても、理解が進むと考えますので、部門を越えた全指導者と団関係者にお読みいただくようにご指導方よろしく願いいたします。

くまの課程の修得課目については、Ⅲ技能と野外活動 10野外活動 (3)で、ボーイ隊の隊キャンプに1泊以上参加する。又は、選択課目(チャレンジ章)のキャンパー(2-4)を修得する。としていて、ボーイ隊の隊キャンプに至るまでにハイキングやデイキャンプなどの段階的な活動を通して行われますが、テント生活によるカブのキャンプは必ず実施しなければならないプログラムではありませんので、チャレンジ章にはこの課目は、1人ではなく、隊か組の一員として行う。さらに、適切な準備と指導者がいるときだけ実施すること。との注意書きがあるとおりです。また、(4)くまスカウトのみのキャンプを1泊経験する。についても同様に必ずしも野営でなくともよいことがわかります。

さて、このたび第21回千葉県キャンポリーでくまスカウトが自団のボーイ隊とテント泊をする機会を作りました。これは決してカブの「テント泊を含むキャンプ」をいたずらに奨励するものではありません。このことをまず明記いたしますので、誤った解釈をされないように留意下さい。

テント泊を許可した根拠は下記の通りです。

1. 指導者や支援者が十分に確保できる。
2. 荒天・雨天時の避難場所が確保できる。
3. 不審者の侵入の心配がなく、また、スカウトが出て行く心配もない場所である。
4. 救護所が設置され、医療従事者の支援をいただける。
5. 非常時の病院が近くにある。
6. 短時間の「体験キャンプ」である。

以上の条件に鑑み、このプログラムの実施に踏みきったことを十分に認識いただき、これから夏期キャンプのシーズンを迎えるにあたり、各隊での「カブのキャンプ」実施については、十分な野外活動の積み重ねと基本条件を満たす必要があることを深く認識して下さい。

野外活動はカブスカウト活動のバックグラウンドです。緑の中で、星空の下で、涼しい風や時には雨に打たれることでカブは大自然の神秘にふれ、いつか知らずに「やくそく」と「さだめ」を実践する機会を与えられます。

常日頃から様々な野外活動を経験させた上で、スカウトの現状にふさわしいカブホリデイやキャンプが実施されるようご指導下さいますようお願いいたします。

以上